

知っとなつた 街のタネ



放課後等デイサービス事業所 よつば福祉園

西区坂井の住宅街の中にあるこの事業所は、学校（小学校～高等学校）に就学して支援を必要とする子ども達の放課後や長期休暇の居場所として対応する施設です。

地域とのつながりを大切にしながら、生活習慣の指導や学習への取り組みなど一人一人の状況に応じた支援計画が生まれ、それに基づいて療育を行っているそうです。

利用する子ども達を3つの学校までスタッフが迎えに行くことから活動は始まります。園に到着したら手洗いうがい、靴やカバンの整理などを行った後、宿題をします。おやつタイムが終わるとその後はみんなで作った手づくり作業療育玩具で楽しんだり自由時間。帰りは保護者が迎えに来ることになっているのですが場合によってはスタッフが自宅まで送ることもあるそうです。

開設は月～金曜日の学校での生活終了時から午後6時ごろまで。土曜日は希望者のみの利用で日曜日は休園。長期休業中も開園で、こちらは長時間療育なので多様な体験活動を組み込むなどスタッフの皆さんの丁寧なかかわりに感銘を受けました。

現在は定員である10人が在園。入園希望は多くあるが、受け入れ条件が整わず希望に添えない状況とのことでした。

訪問してみると、園長さんはじめスタッフの皆さんの雰囲気から、子ども達にとってほっこり安心できる「陽だまり」になっていると感じました。



よつば福祉園 プレイルーム

うちの ゴミ協 コミュニティ中野小屋

当ゴミ協は、西川の東西に沿った18自治会で構成された稲作中心の農村地域で、親子三代ふれあい会、瑞穂祭をメインに活動しています。現在、国道116号の渋滞解消のため、内野・五十嵐まち協、西内野ゴミ協、ゴミ佐潟と合同での地域活動を開始しました。*

また、広大な米どころの風景を発信するために郵便局と連携し、地域公募でデザインを決めた風景印を昨年4月から使用しています。多数の応募の中から採用されたのは、小学生の作品でしたが、地域公募によるものは珍しいと聞いています。消印から地域をイメージしていただければ幸いです。



※国道116号新潟西道路整備促進期成同盟会は、6月16日(土)に設立総会

(会長 真嶋民雄)



タイトル 西川の遊歩道のひまわり
コメント 大きな目で散歩の人を見守っていました。
氏名 志賀信正さん

とっておきの一枚の私

募集 しています
広報紙や自治協議会活動についての
◆住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。
◆とっておきの私の一枚
◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。(電子メール可) ◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募写真は返却しません。◆締め切り8月末日(10月号掲載予定)。「事務局」あて。

パソコン・スマートフォンでもご覧になれます！
Web版西区を豊かに(西区役所ホームページ内)



西区を豊かに

第26号

発行者 新潟市西区自治協議会
会長 岩脇 正之
事務局 〒950-2097
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。



会長 岩脇正之

住みよい西区に...

西区自治協議会会長にたずねる...

西区の男性は、厚生労働省によれば新潟県で最も平均寿命が長く、81.7歳とのこと。一方、西区役所だより(H30.5.20)によれば、生活習慣病のハイリスク者の割合は西区が市内で一番高いとありました。健康寿命の延伸や全国的傾向である少子高齢化・人口減少は西区にとっても重要な課題です。より住みよい西区に向けての会長の想いを聞かせてください。

西区は都市と農村が融合する地域で、工業、製造業などの事業所は少ない反面、大学や医療機関が多いことが特筆されます。しかし残念ながら、全国的傾向である少子高齢化社会を迎え、農村地域での人口減少が目立つのも特徴です。

- そこで、西区ではより住みよい地域をめざし次の5つのビジョンを掲げ取り組んでいます。
- I 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち
 - II 都市と農村が融合するまち
 - III だれもが学び合える学術と文化のまち
 - IV 豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち
 - V 地域と区役所が共に歩むまち
- 自治協議会としても、今年度は下記の図に示した提案事業等を行い、目指す区のすがたに向け、区役所や区民との協働活動に取り組んでおりますが、健康寿命延伸などは人任せにせず、一人ひとりが自分のこととして努力することが一層望まれます。

自治協議会は発足して11年。毎年課題解決の活動を続けてきましたが、成果と今後への指針を聞かせてください。

地域事情に精通している委員や専門的な知識を有する委員が課題に向け情報を共有し、活発な議論と提案を行い活動を積み上げてきました。

なお、西区には大学があり、これは地域の財産です。各大学から自治協議会委員も選出していただき積極的に活動してもらっていることは、当協議会の広報などでお知らせしてきたところですが、これからも大学との連携を図り、学生たちの声を聴き、自治協議会の認知度向上や、より活発な活動につなげていければと思っています。

新事業/5月決定済

地域課題解決に向けた事業募集
区民のみなさんと一緒に考えます。協働しましょう

9月15日(土)
健康寿命延伸に向けた講演会
健康で長生きするために...

9月16日(日)
防犯に関する講演会
詐欺被害に遭わないために...

平成30年度 西区自治協議会提案事業

6つの提案事業

10月20日(土)・21日(日)
第6回 西区アートフェスティバル
黒崎市民会館にて開催。区民もプロも出演します。乞うご期待!

新事業/10月配布予定
防災カード作成
防災カードを全世帯に配布します

10月配布予定
西区の特産物・観光地カレンダー
西区は特産物の宝庫、魅力あふれる観光地とともに紹介します



新潟大学教育学部学生作

編集後記

地域課題解決に向けた事業募集に7事業応募があり、3事業を決定しました。今後自治協と協働実施し、課題が解決されることを期待します。また、区のフェイスブックに当紙第25号発行の記事を掲載したところ、わずか半月で前年度の半数を上回るアクセスがありました。SNSの影響力はすごいですね。(三富正典)

平成30年度
西区自治協議会提案事業

西区の宝サポート事業

地域課題解決に向けた事業募集 採択事業決定!!

今年度新しい試みとして、西区の多様化する地域課題解決を目的とし、地域の声を吸い上げるため、西区自治協議会と協働実施することで相乗効果が見込まれる事業を募集しました。

計7事業の応募をいただき、事業選定の審査については、方向性、実行性、有効性、継続性、地域性の5つの評価基準により、書類による一次審査と、応募団体のプレゼンテーションと質疑応答による二次審査を委員で行いました。その評価結果を基に、正副会長と部会長で構成する会議において3つの事業の採択を決定しました。

どれも魅力的な事業だったので、事業選定においてはとても苦労しました。

各事業の開催日程や事業報告は、今後自治協広報紙や区だより、区ホームページ等でお知らせしていきます。



審査状況の様子

◆応募事業数：7事業 ◆審査方法：書類審査及びプレゼンテーション審査 ◆採択事業数：3事業
◆採択事業一覧

事業名	事業概要・団体名
スポーツ鬼ごっこ西区 Cup フレンドリー大会	事業概要 スポーツ鬼ごっこの体験会・3級ライセンス取得会及び小学生大会を始めとし、多世代が交流できる大会を開催することにより、参加者の基礎体力の向上や世代を超えたコミュニケーションの促進を図る。 団体名 Oni Base Niigata
カーリンコンの普及振興と健康増進への貢献 in 西区	事業概要 カーリンコンの楽しさを知ってもらう活動として、西区内の各地域で講習会や体験会等を開催し、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も誰もが楽しめる健康づくりと社会参加をするきっかけをつくる。 団体名 新潟県カーリンコン協会
「地域カルテ」から始めるまちづくり “次の一歩” ワークショップセミナー	事業概要 各コミュニティ協議会の代表者を対象に、ワークショップを実施し、地域カルテのデータの読み解き方を学ぶことや参加者同士の意見交換を通し知恵とアイデアを磨くことで、各コミュニティ協議会で、これからの自治活動をさらに深めて進められるようにする。 団体名 特定非営利活動法人まちづくり学校

平成30年度 西区自治協議会提案事業

定員：300名 申し込み：お申込み方法など詳細は、8月頃にホームページ、チラシ、西区だより等でご案内します。

健康寿命延伸に向けた講演会

保健福祉分野を所管する第2部会では、健康寿命延伸といえば高齢者の問題ととらえ易いですが、土台づくりは若い世代にもあるわけで、子育て世代の方々にも足を運んでいただきたいと思えます。

スマート・エイジング[※]の第一人者である川島隆太先生から、学習療法による認知症予防や朝食習慣の大切さなど健康へ向けた秘訣を講演していただきます。

※スマート・エイジング：年を重ねることを後ろ向きにとらえるのではなく、加齢を人としての成長の機会ととらえ、賢く年をとっていくこと。

【日時】平成30年9月15日(土) 午後1時30分～午後3時(開場午後1時)
【会場】西新潟市民会館 2階多目的ホール 【参加料】無料

【内容】
テーマ：「健康寿命延伸に向けた講演会」(仮)
講師：川島 隆太氏 (東北大学加齢医学研究所所長)



川島隆太 (かわしまりゅうた)

昭和34年生れ。千葉県千葉市出身。東北大学加齢医学研究所 所長。東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター センター長

Profile

昭和60年東北大学医学部卒業、平成元年東北大学大学院医学研究科修了後、数々の役職を歴任し、平成26年より東北大学加齢医学研究所所長。平成29年より東北大学学際重点研究センター長兼務。
主な受賞として、平成20年「情報通信月間」総務大臣表彰、平成21年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」、平成21年度井上春成賞。平成25年河北文化賞。査読付き英文学術論文400編以上、著書に「スマホが学力を破壊する」(集英社新書)「さらば脳ブーム」(新潮新書)など、300冊以上を出版。

防犯に関する講演会 「詐欺被害に遭わないために」

防犯分野を所管する第1部会では、詐欺被害に遭わないために、どのような対策をすればいいのか、心理学の専門家からはダマされる人の心理について、知能犯捜査官からは詐欺師の巧妙な手口と対策についてお聞きし、地域やご家庭において詐欺被害に遭わないためのヒントが得られればと願っています。

【日時】平成30年9月16日(日) 午後1時30分～午後4時(開場午後1時)
【会場】西新潟市民会館 2階多目的ホール 【参加料】無料

【内容】
第1部 テーマ：「こうしてあなたもだまされる～心のすきまを狙う犯罪者達～」
講師：博士(心理学) 碓井 真史氏 (新潟青陵大学大学院教授)



第2部 テーマ：「新潟県内特殊詐欺の現状と対策について」
講師：新潟県警察本部 捜査第二課知能犯捜査官・生活安全企画課安全安心推進室長



新潟市の特殊詐欺被害状況

平成29年の特殊詐欺の被害状況は、被害件数63件、被害額約3億1,000万円であり、前年と比較すると件数で6件、被害額で約1億1,000万円の増加となりました。
手口別では、融資保証金、還付金等、金融商品等、ギャンブル必勝情報の件数が減少するも、オレオレ、架空請求が増加と、特に架空請求の被害金額が約1億円増加しました。

この数字は氷山の一角とされています。

区分	平成29年		前年比	
	件数	被害額	件数	被害額
特殊詐欺	63	3億1,282	6	1億1,270
振り込め詐欺	62	3億1,153	9	1億2,262
オレオレ	23	5,108	5	2,045
架空請求	34	2億5,289	11	1億0,930
融資保証金	2	601	-2	-169
還付金等	3	155	-5	-544
振り込め詐欺以外	1	129	-3	-992
金融商品等	1	129	-1	-743
ギャンブル必勝情報	0	0	-2	-249
異性交際あっせん	0	0	0	0
その他	0	0	0	0

【被害額単位：万円(以下四捨五入)】

